

科学技術イノベーション予算戦略会議（第8回） 議事概要

1. 日時・場所 平成27年7月28日（火） 15：30～16：00
於：中央合同庁舎第4号館（11階） 共用第1特別会議室

2. 出席者

山口科学技術政策担当大臣（議長）	
松本内閣府大臣政務官	
総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）	原山議員、久間議員
内閣府	森本政策統括官（副議長）、 中西審議官、中川審議官、松本審議官
内閣官房	神谷日本経済再生総合事務局企画官（代理）
警察庁	前川長官官房技術審議官
総務省	荻原情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室長（代理）
外務省	高橋軍縮不拡散・科学部国際科学協力室長（代理）
文部科学省	川上科学技術・学術政策局長
厚生労働省	鈴木大臣官房技術総括審議官
農林水産省	西郷農林水産技術会議事務局長
経済産業省	片瀬産業技術環境局長
国土交通省	吉田総合政策局技術政策課長（代理）
環境省	吉川総合環境政策局総務課環境研究技術室長（代理）
防衛省	外園大臣官房技術監

3. 概要

<開会>

冒頭、山口大臣、松本政務官から以下の挨拶があった。

（山口大臣）

来年度は、第5期基本計画と総合戦略2015を連動させて科学技術イノベーション政策をより効果的にかつ効率的なものにしていきたいと考えており、関係府省の幹部の皆さん方におかれましては、第5期科学技術基本計画の初年度にふさわしい予算になるよう、要求内容のブラッシュアップをお願いしたい。

とりわけ私としても、司令塔としてその責任を果たすべく、総合戦略2015の推進、科学技術関係予算の確保に向けて、財務省ともしっかり交渉していきたい。

科学技術イノベーション予算の効果を高めるため、他の司令塔や関係府省との連携をより一層強化するとともに、第5期基本計画期間では、科学技術イノベーション政策の全体像を俯瞰し、限られた資源を必要な分野・施策に適切に配分できる調整機能を構築して、この予算戦略会議をこれまで以上に権威あるものにしたい。そのため、私も自ら汗を流していきたいと思っているので、ぜひとも関係府省のご協力をいただきたい。

（松本政務官）

第5期基本計画と総合戦略2015の有機的な連動が重要だと考えている。基本計画は、専門調査会で議論を進め5月末に中間取りまとめを行ったところで、今後は年末の答申に向け内容を精査していく予定である。関係府省の幹部の皆さんにおいては、平成28年度予算編成に向け総合戦略2015を踏まえた予算要求を具体化、精査していただきたい。

内閣府への要望等あれば、本日率直なご意見をいただき実りある議論となるよう、私も山口大臣のもとでしっかり汗をかいていきたいと思っているので、よろしく願いしたい。

<議事>

(1) 平成28年度科学技術関係予算の概算要求に向けて

(内閣府各担当審議官から資料1～資料3に基づき説明の後、意見交換。)

<出席者の発言(ポイント)>

(久間議員)

- 経済・社会的課題の解決に向けた重要な取り組みについては、これまで個々の施策に対して評価をしていたが、今年からは複数施策をシステムとして括って出してもらうように変更した。これは、日本の産業界が個々のハードウェアは強いがシステムが弱いという構造であるが故であり、利益の源泉がシステムに移りつつあることから、今変えておかねば将来の産業競争力が弱くなる。現在、アクションプランのヒアリングの最中であるが、各省庁はその点を踏まえてシステムの切り口から提示していただきたい。

(文部科学省)

- 研究資金改革について、大学がイノベーション創出の面で果たす役割が大きくなってきている。従来は基盤的経費によって基礎研究が行われ、その成果に対して外部資金が入ってきて、それが社会実装される仕掛けであったが、基盤的経費が削られている中であって、引き続き大学が社会に実装できるような成果を出し続けていくためには、その沃野である基礎研究の成果を出し続けるとともに、それを社会実装に向けて橋渡しをする機能も必要である。

成果を得て、それを社会実装していくパートナーである民間企業や各省庁にも御協力を頂き、これらの仕組みを引き続き保持していかねばならないという観点から、間接経費の重要性が今、非常に高まってきているため、大学等における基盤の整備に資するよう、間接経費の適切な措置についてご検討いただきたい。

(経済産業省)

- 大学改革、中でも大学が橋渡し機能を果たそうとする動きは素晴らしいことであり、企業など外部からの資金受け入れを大学の評価指標にすることはイノベーションの基本だと考えている。財政的な意味合いもあるが、外部から資金提供を受けるに値する研究をしなければならないということがあってはじめて、大学が世の中に役立つ方向に動いていく。

経産省では、企業におけるオープンイノベーション促進のため、税制の抜本拡充として、例えば企業が大学と共同研究をした場合、研究テーマいかに関わらず、当該研究に係る費用の30%が税額控除される制度とした。また、その機運をさらに盛り上げるためオープンイノベーション協議会を設立し、既に主要企業200数十社及び50大学以上が加入して活発に活動している。

大学を改革するためにも、オープンイノベーションの旗は文科省でも振っていただくとともに、オープンイノベーション協議会にもぜひご参加いただきたい。

(農林水産省)

- 農水省は今まで研究が公的部門ばかりにあって、民間企業や大学等との連携は少なかったが、成長産業化を農林水産業も進めていくためには公的部門だけでは追いつかない面もあるため、今後は積極的に連携をしていくように検討を進めている。先行している各省庁の施策も勉強させていただきながら、今後ともよろしくお願ひしたい。

(文部科学省)

- 予算戦略会議なので予算以外の話は遠慮していたが、平成27年度から国立研究開発法人制度が独立行政法人制度の中の3類型の1つとして位置付けられ、国立研究開発法人が成果を出しやすい制度改革についても内閣府を中心に取り組んでいるところ。少しずつ成果は上がってきていると思うが、他方で、例えば費用進行基準から成果達成基準に変わったり新しい会計制度が導入されたりしている点は、運用してみないとその問題点が必ずしも明らかにならないため、引き続き各省と情報交換しながら問題点の抽出を行っていきたいと思い、御協力をお願いしたい。

(原山議員)

- 研究資金の改革は、本質的な大学改革と一体的というところが今回の重要な点であり、大学の運用の仕方そのものも旧来型のモデルではなく新たなモデルを模索中である。これもやはり運用してみないとわからないので、最適な運用ができるような仕掛けは何かを間接経費措置の話も含めた形で見守りつつ、問題点を改善していくことをやっていきたい。

(2) その他

(内閣府から以下について事務連絡)

- 本日の会議資料は全て公表し、議事録についてはポイントのみ記したものを議事概要の形で公表させていただく。これから関係省庁連絡会議等、様々な場面でまた御協力をお願いしたい。

<閉会>

最後に、松本政務官、山口大臣から以下のコメントがあった。

(松本政務官)

関係府省連携をして、しっかりと取り組んでいただきたい。特に、経済・社会的課題の解決に向けた重要な取り組みに関しては 2020 年という成果目標を設定しているところ。これに向けて結果を出し、国民の皆さんにその恩恵を実感してもらうことが大変重要だと思うので、今後引き続いての御協力をお願いしたい。

(山口大臣)

今の説明の中にありました経済・社会的課題の解決に向けた重要な取組については、未来の産業創造あるいは社会変革といったものに先行して取り組んでいるところ、関係府省と産業創出に向けた価値観を共有しつつ、とりわけビッグデータ、IoT、人工知能等を駆使して、大変革時代に対応していけるシステムをしっかりと作り上げていただきたいので、特に新規の予算要求を含め、関係府省の施策を総動員いただきたい。

それと自動走行については、国内外問わず大変注目を浴びているが、総合戦略 2015 においても極めて重要なテーマとして位置づけをしている。この自動走行の実現に向けた取り組みを加速するため、いわゆる完全自動運転に向けた日本の有利な立場を活かした拠点づくりを含め、世界をリードするようなすばらしいものができればと考えており、関係府省のご協力をいただきたい。

サイバーセキュリティは、先日の本会議で、SIP の 11 番目の課題候補として正式に決定をしたところ。オリンピック・パラリンピックも念頭に置いてサイバーセキュリティを実装していくため、重要インフラ所管府省を始めとする関係府省の強力なバックアップが必要不可欠であり、ぜひともご協力いただきたい。

研究力強化に資する研究資金の改革について、競争的資金は、対象の再整理を関係府省においてご検討いただいていると理解しているが、競争的資金以外の研究資金は、間接経費の導入等を検討することとしており、その際には関係府省のご協力をいただきたい。

これらの様々な取り組みをより効果的・効率的に推進し、科学技術イノベーション予算の効果を高めるためにも、IT 戦略本部や健康・医療戦略推進本部等、他の司令塔や各府省との連携をより一層強化して進めていきたい。

その上で、科学技術関係予算の獲得とさらなる有効活用を図ることが重要であり、第5期基本計画の期間では、科学技術イノベーション政策の全体像を俯瞰しながら、限られた資源を必要な分野、施策に適切に配分できる調整機能の構築、予算戦略会議の一層の強化を図っていきたい。

冒頭で申し上げたとおり、私も自ら汗を流していきたいと思っているので、是非ともご協力をいただきたい。

以上